

平成28年度 第1回 奈良県食育推進会議 概要

日 時:平成28年11月8日(火) 午後2時00分～午後3時30分

場 所:ホテルリガーレ春日野 1階 天平の間 (奈良市法蓮町757-2)

議題(1) 健康寿命日本一に向けた取組について

議題(2) 第2期奈良県食育推進計画に基づく施策について

○ 委員意見

(野菜摂取、減塩について)

- ・ 県民は、自分たちが野菜を摂っていないという意識がとても低いと感じる。そこをまず変えないといけないのではないか。
- ・ 奈良県は県産野菜のアピールが下手だといつも思っている。
- ・ 野菜摂取量が最下位レベルであることをポスターを使って啓発してはどうか。
- ・ 野菜摂取を啓発するのであれば、色の濃い野菜をたくさん食べましょうというフレーズを入れたらよいと思う。
- ・ 長野県の野菜摂取量が突出して高い背景については、長野県の担当者と意見交換した方が早く把握できるのではないか。
- ・ 野菜も大事だが、食塩の優先順位は高い。
- ・ 減塩も重要だし、野菜も重要。両方重要。両方揃わないとなかなか効果は上がらないのではないか。
- ・ 日本型の食生活は塩分摂取が多くなる。減塩の取組について、かつて厚労省から示された健康的な食事の 패턴のように、イメージしやすい提示がよいのではないか。
- ・ 体験型の学習は、実施直後は反応がとてもよく、手ごたえを感じる場所であるが、終わった後の持続性のことも考える必要がある。
- ・ 「げんえもん」の紙芝居の啓発が少ない。もっと紙芝居を啓発活動に活用したらよい。
- ・ 学校毎に食育の計画を立てるように推進するのが望ましいのではないか。

(その他・資料等について)

- ・ 都道府県別脂肪摂取量のグラフも資料にいただくと、県の食生活事情がよくわかるのではないか。
- ・ 健康寿命延長という観点では、食分野の取組だけで延びるものでもないで、健康寿命延長ということであれば、他の分野についても資料を出していただきたい。
- ・ 都道府県別データについて、奈良県と違うところは、直接照会したら何かヒントを得られるかもしれない。
- ・ どう介入すればより良い生活習慣になるのか、データをお示ししたい。

議題(3) 第3期奈良県食育推進計画の策定の方向性について

○ 委員意見

- ・ 4つの分野(①健康づくりを推進するための食育、②未来を担う子どもの食育、③奈良県の食の魅力向上のための食育、④みんなで支え合う食育)の立て方という点ではよい。
- ・ 食育をどう推進するかという観点での目標設定を希望する。
- ・ 食育を誰がどう進めてどうなるかを具体的に示せば、取組が見えやすくなるのではないか。
- ・ 人が動いて、裾野が広がって、食育の輪が広がるような計画にすること。